

最終氷期の景観と先史狩猟採集民の暮らし

－相模野台地を中心として－

相模原市教育委員会 中川真人

はじめに

1. 最終氷期の気候変動と自然環境

- ・急上昇する気温と緩やかな寒冷化 ーダンスガード・サイクルー
- ・最寒冷期の植生環境
- ・動物相の変化 ー大型絶滅動物から中型動物へのシフトー

2. 最終氷期における相模野台地の形成史

- ・グローバルな気候変動に連動した相模野台地の形成 ー相模川と富士山ー
- ・富士相模川泥流堆積物と陽原段丘面の形成
- ・相模川流域沿いの段丘面形成と遺跡分布 ー相模野第IV期ー

3. 旧石器時代の石器群の形成と移動生活

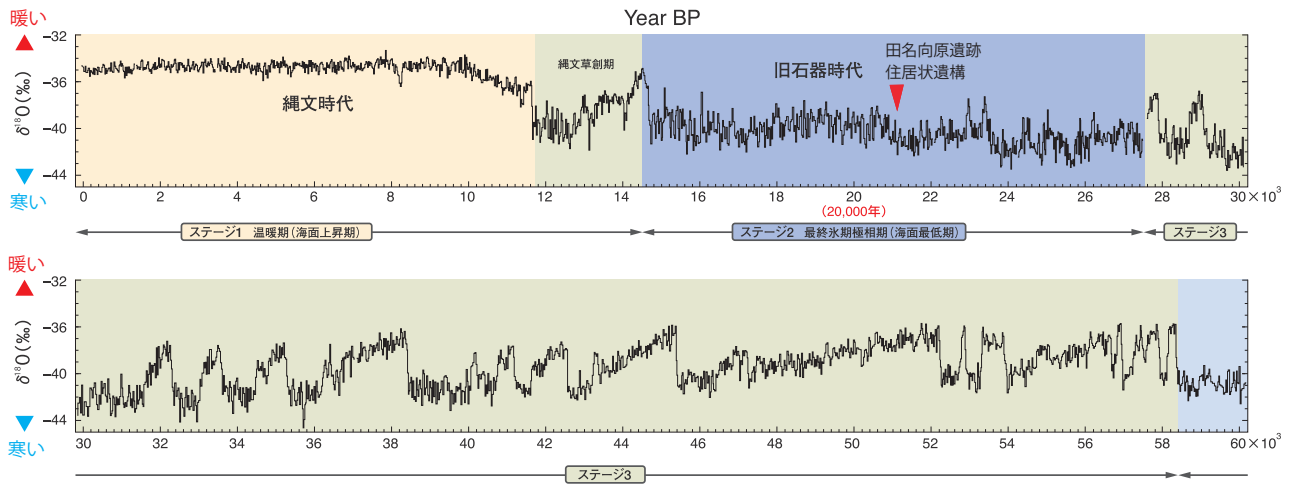
- ・石器のライフヒストリーと石器群の形成
- ・移動生活の中の石器づくり ー石器の遺跡間接合ー
- ・大規模遺跡の形成と回帰的な移動生活

4. 田名向原遺跡住居状遺構

- ・住居状遺構の構成と尖頭器石器群の形成
- ・磨石状円礫と皮革処理
- ・住居状遺構形成の背景を探る

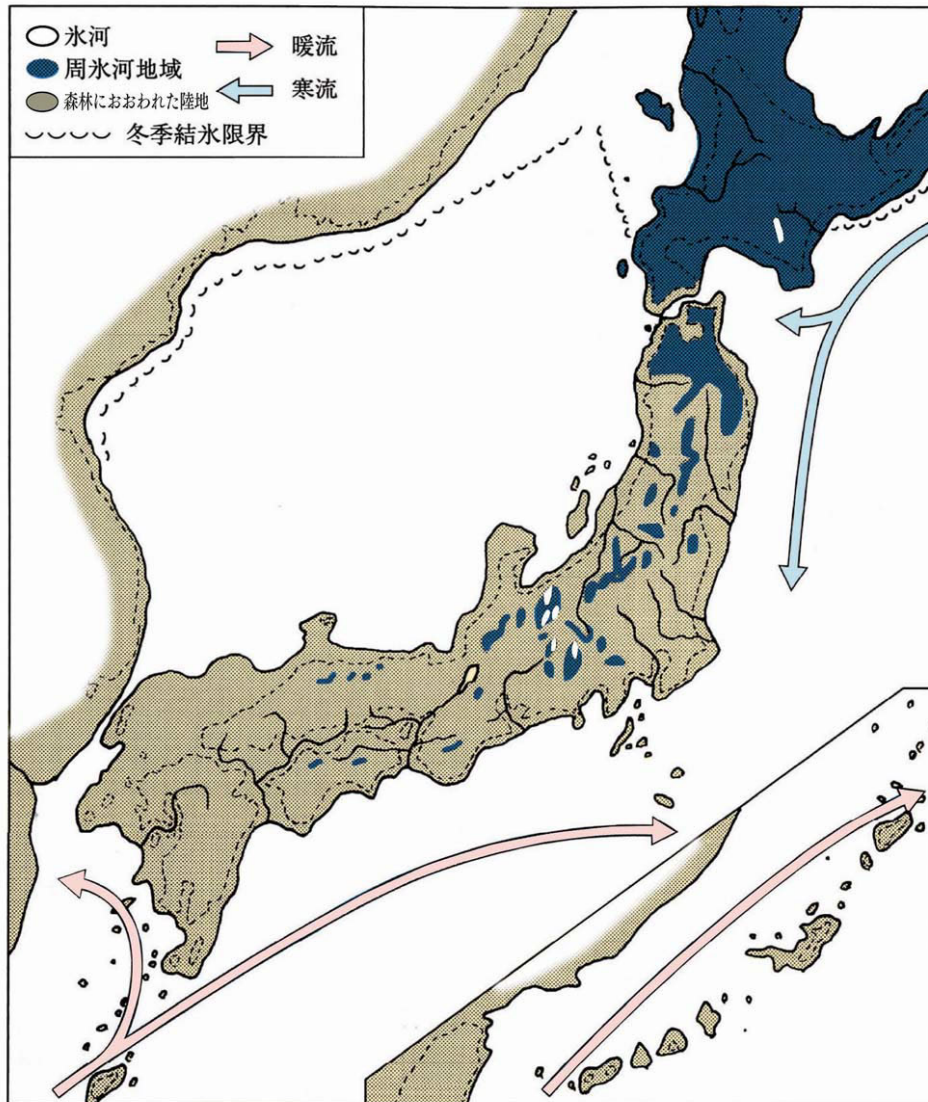
おわりに





Stuiver and Grootes (2000) Quaternary Research, 53, Fig.1

第1図 酸素同位体比による気候変動



第2図 最終氷期の日本列島古地理図 (相模原市 2009)



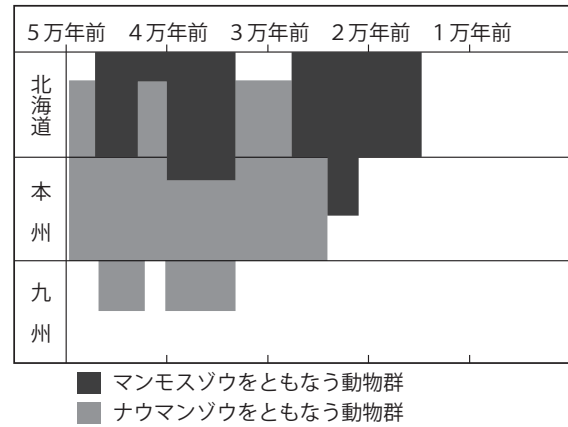
第3図 標高2000mの針広混交林（日光白根山）



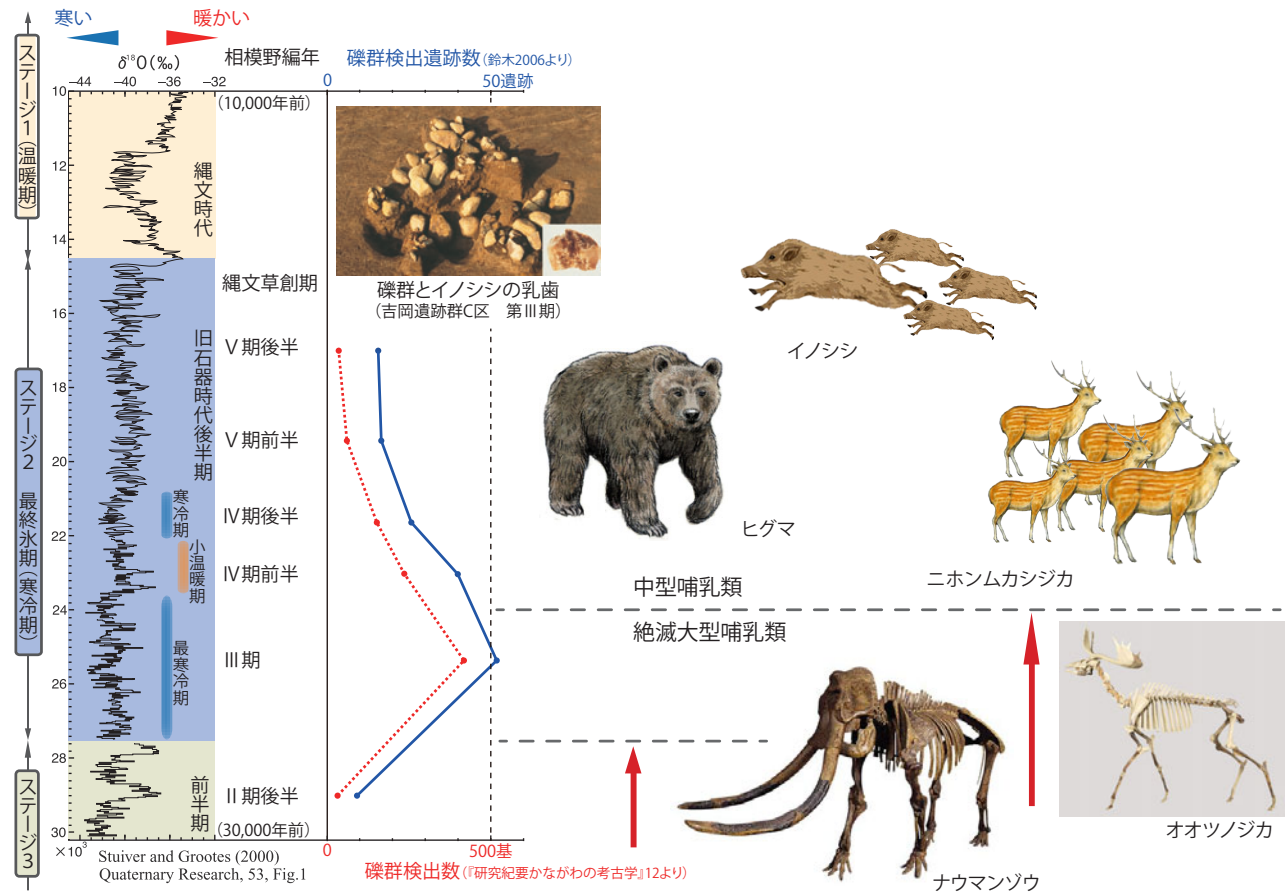
第4図 最終氷期の植物質食料



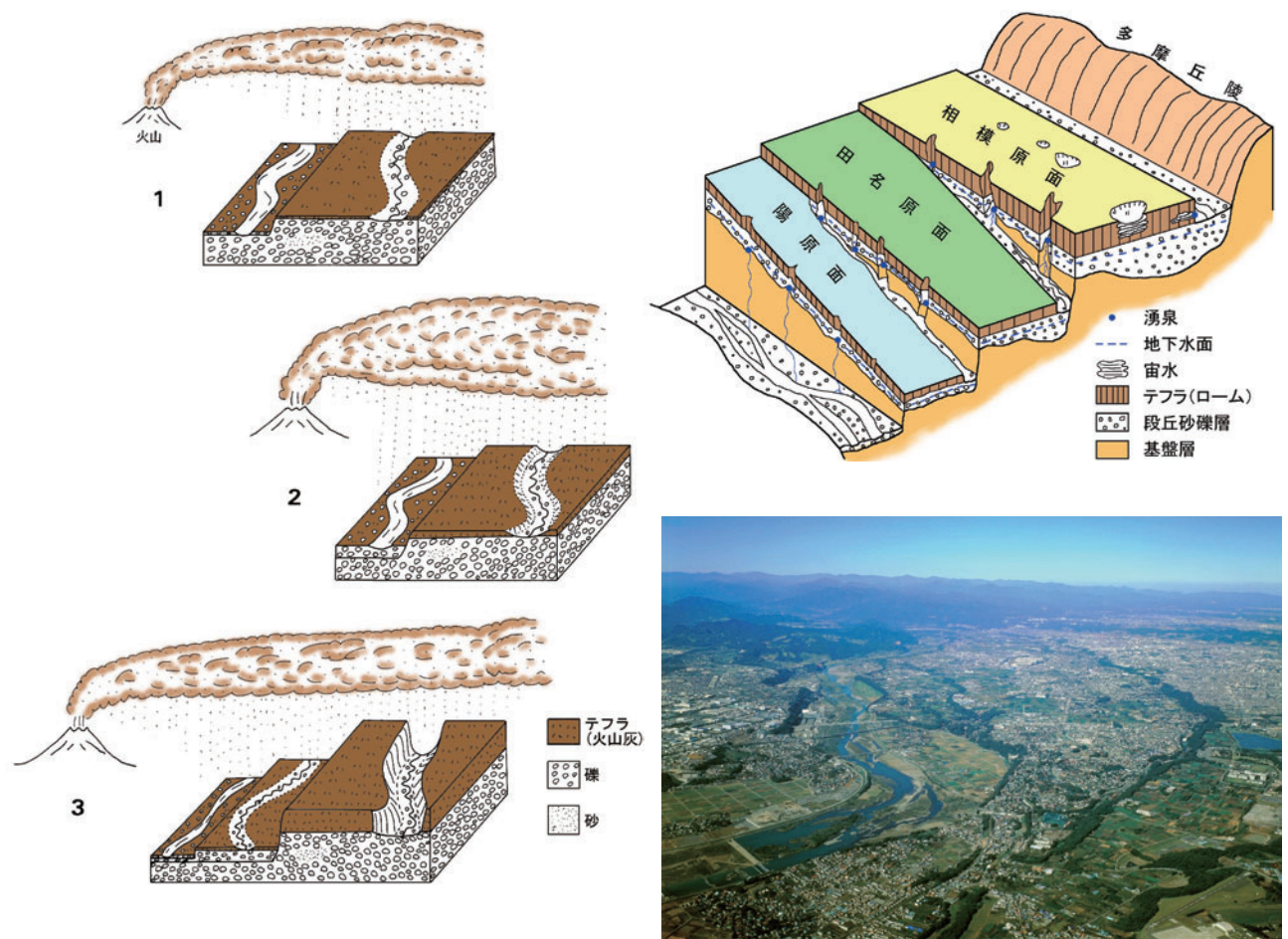
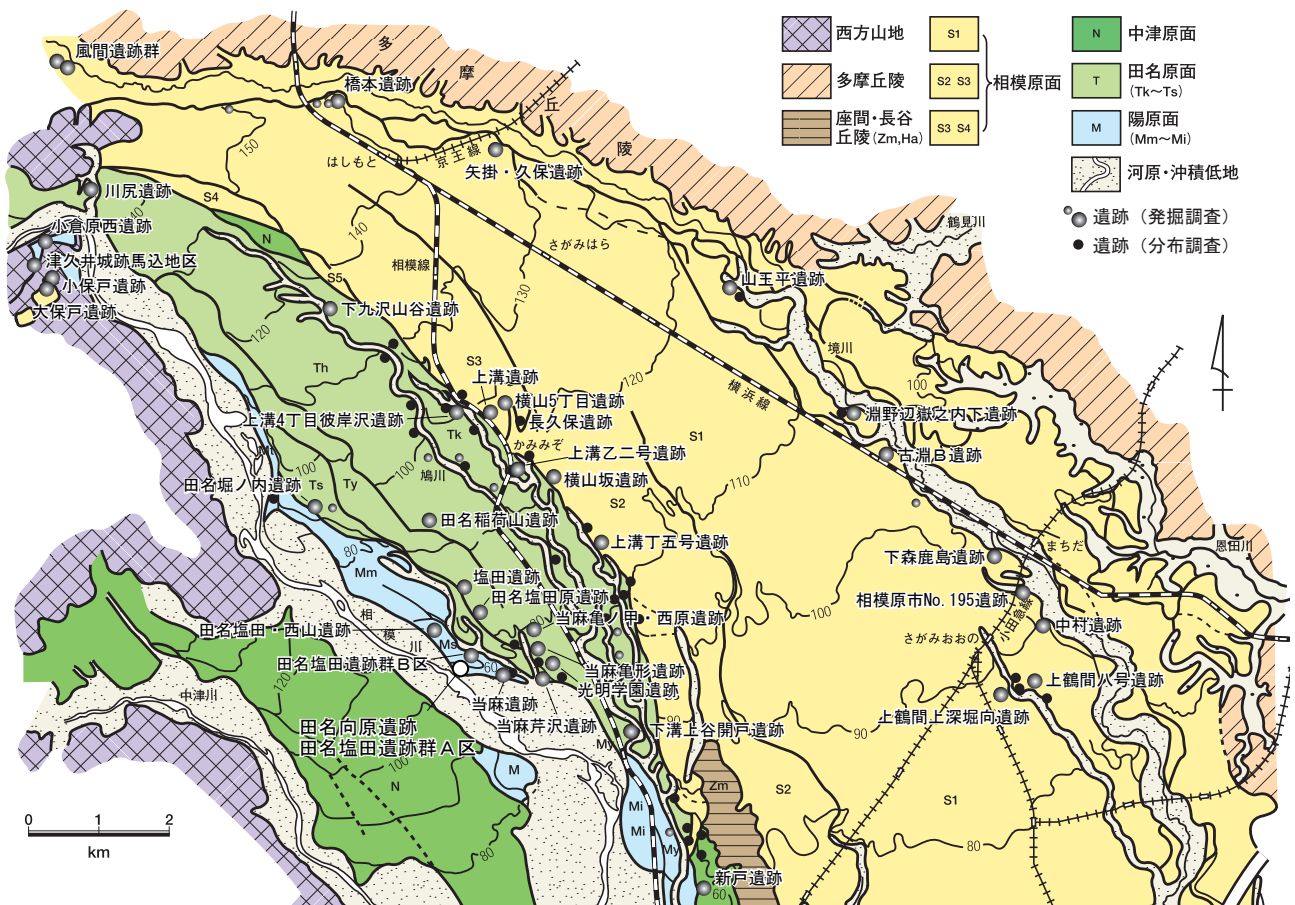
第5図 最終氷期の植生分布と動物種の棲息地域（高橋 2011）



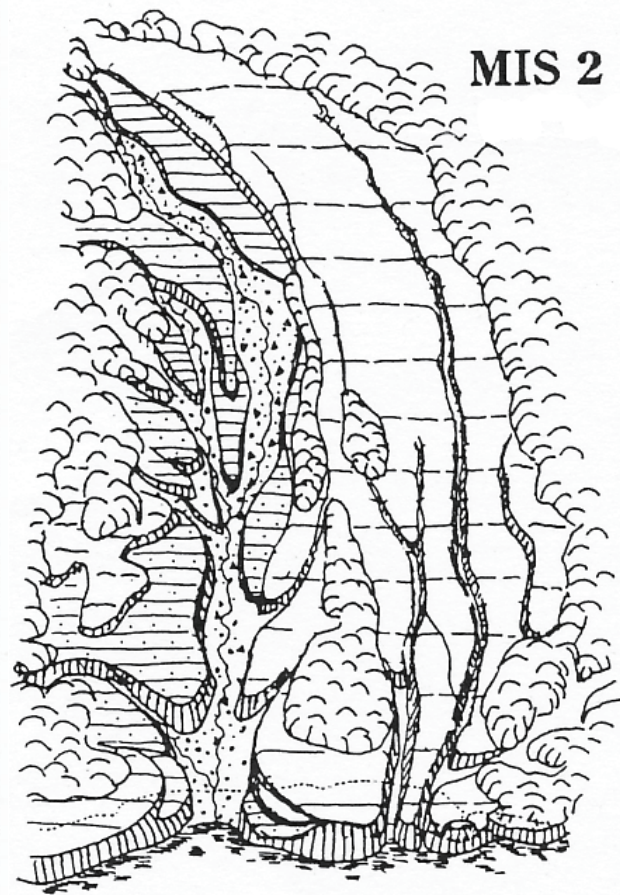
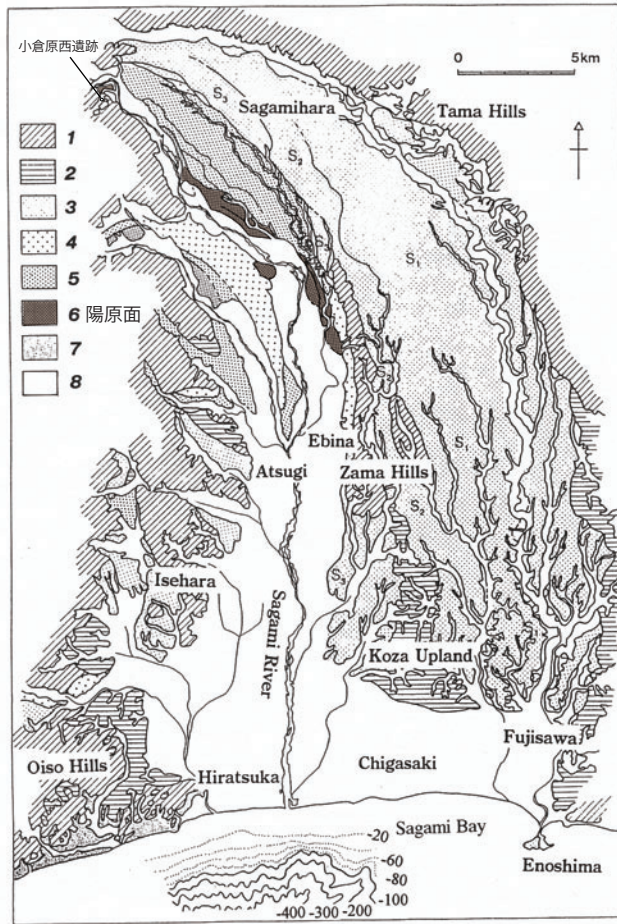
第6図 最終氷期における2つの動物群の時間的、地理的変遷（高橋 2011）



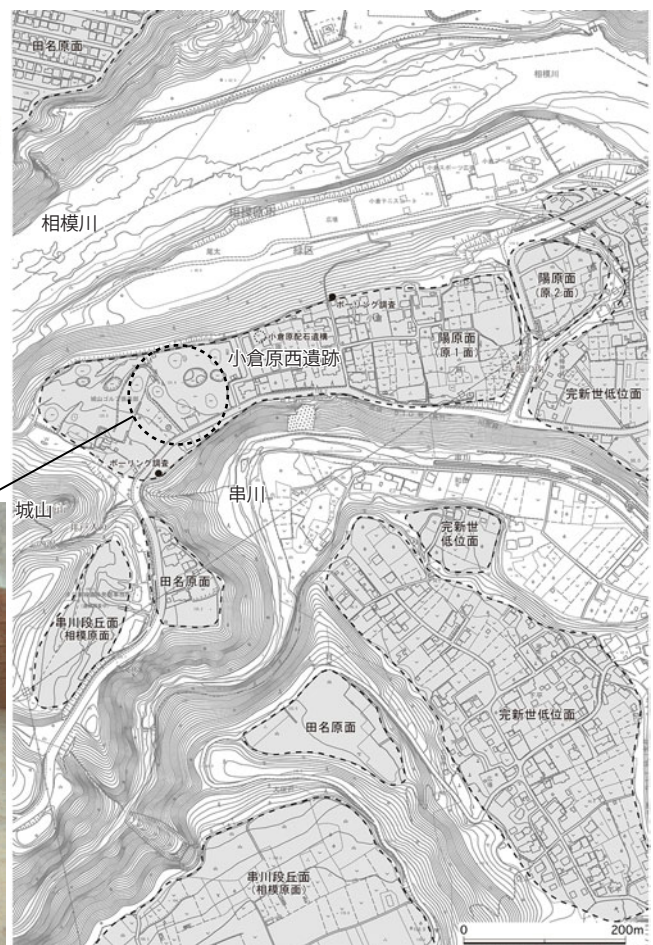
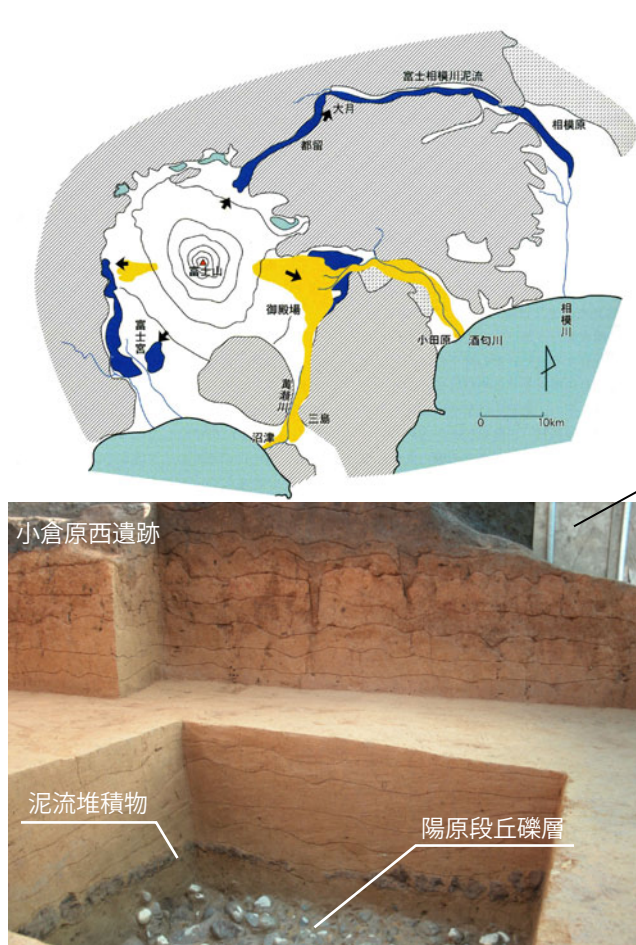
第7図 最終氷期の気候変動と動物相の変遷（高橋 2011 を元に作成）



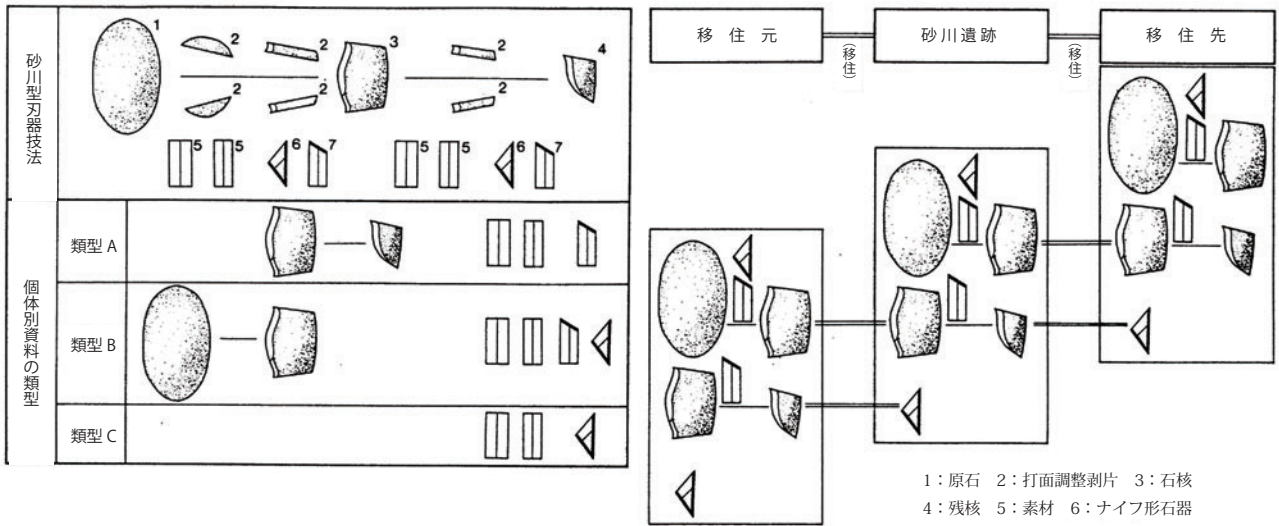
第 8 図 相模野台地の河成段丘面 (相模原市 2009 を一部改変)



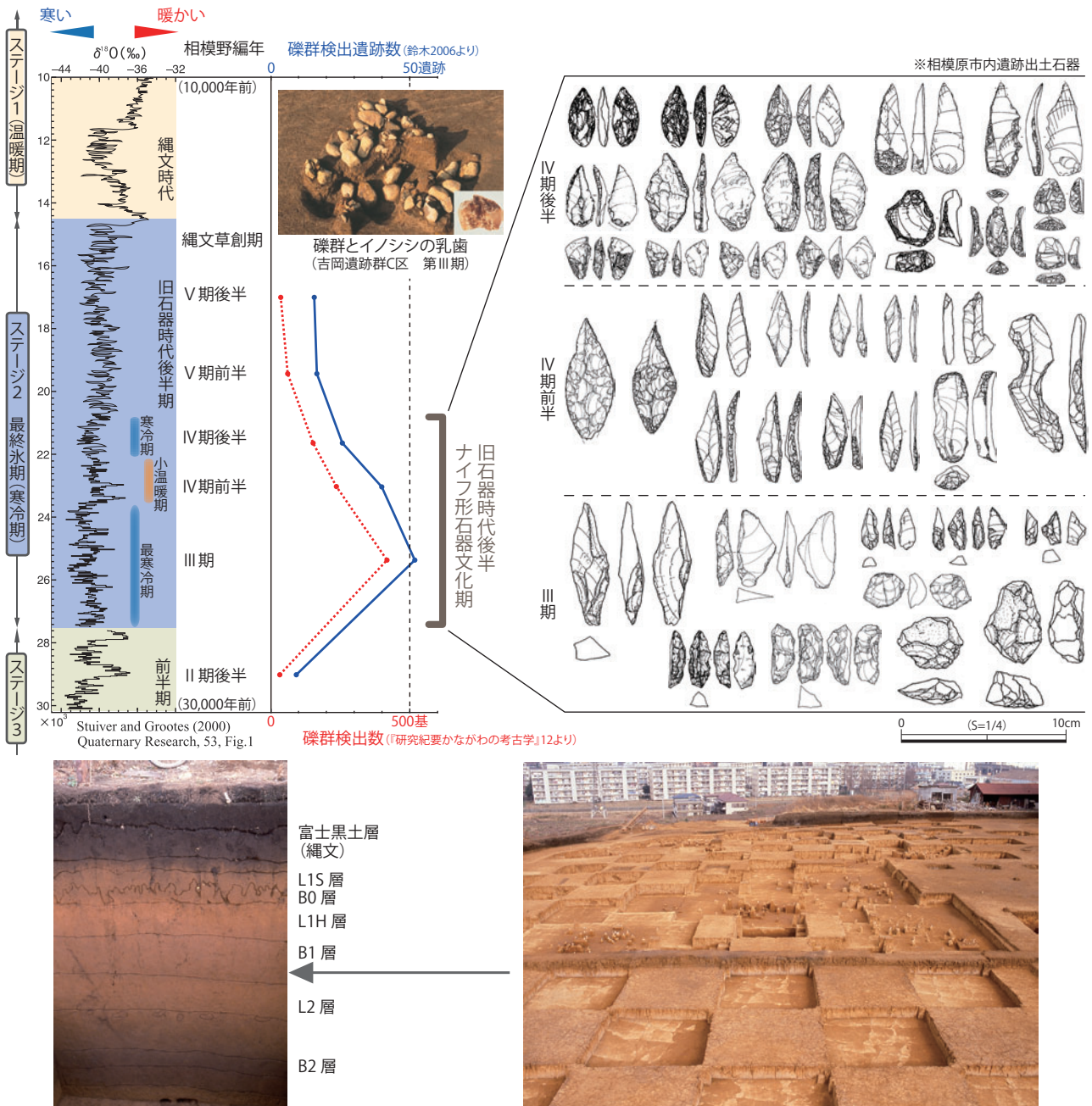
第9図 相模川下流域の地形区分と最終氷期最寒冷期の古地理図 (久保 1997 を一部加筆)



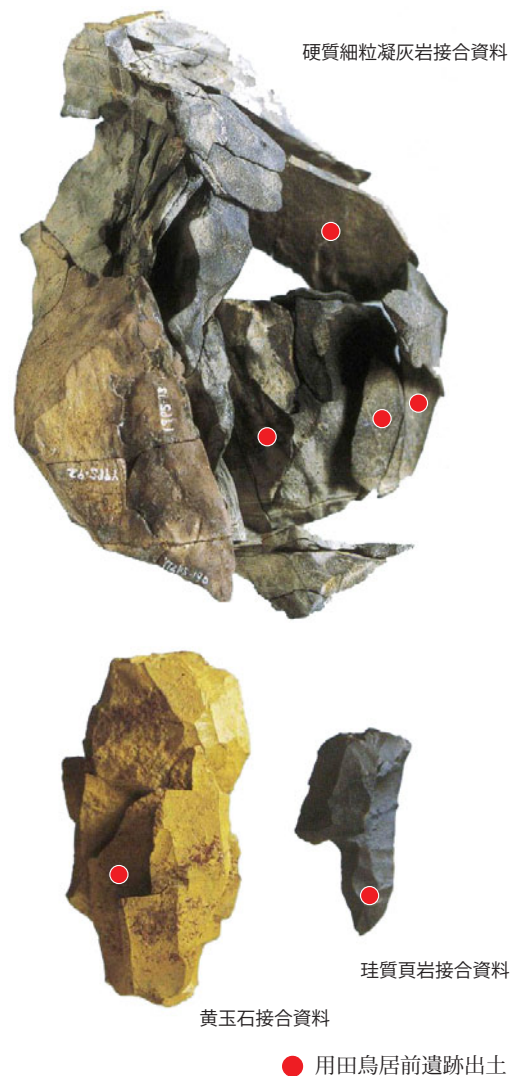
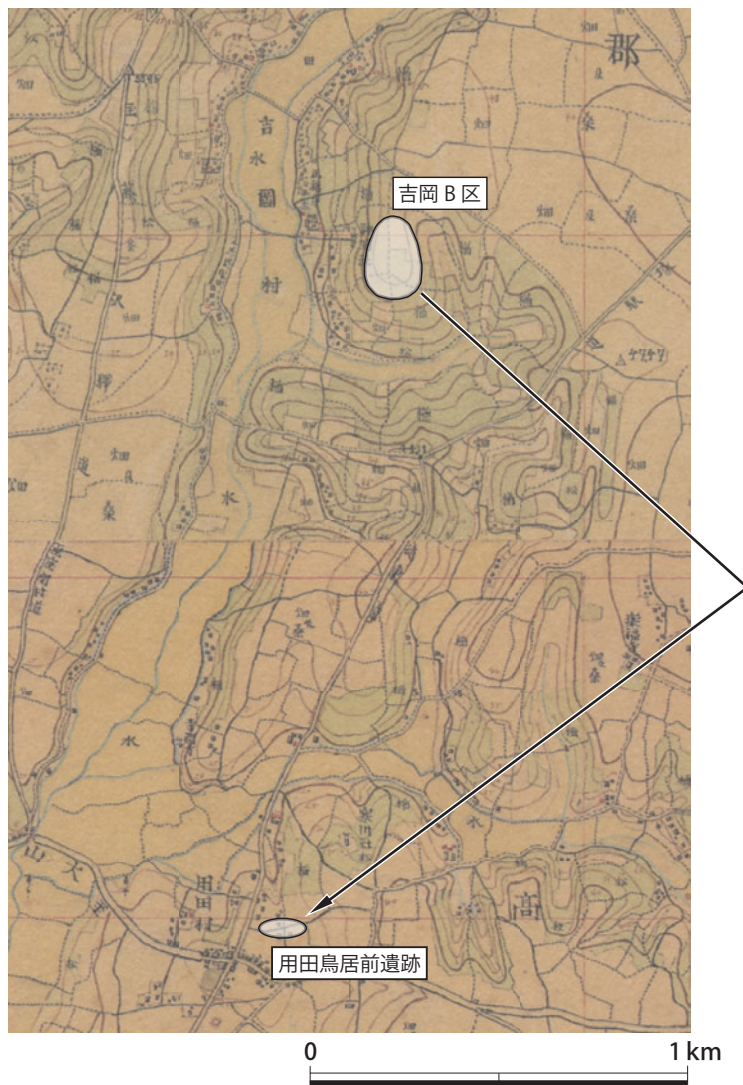
第10図 約22,000年前の富士相模川泥流堆積物 (左上: 相模原市 2009)



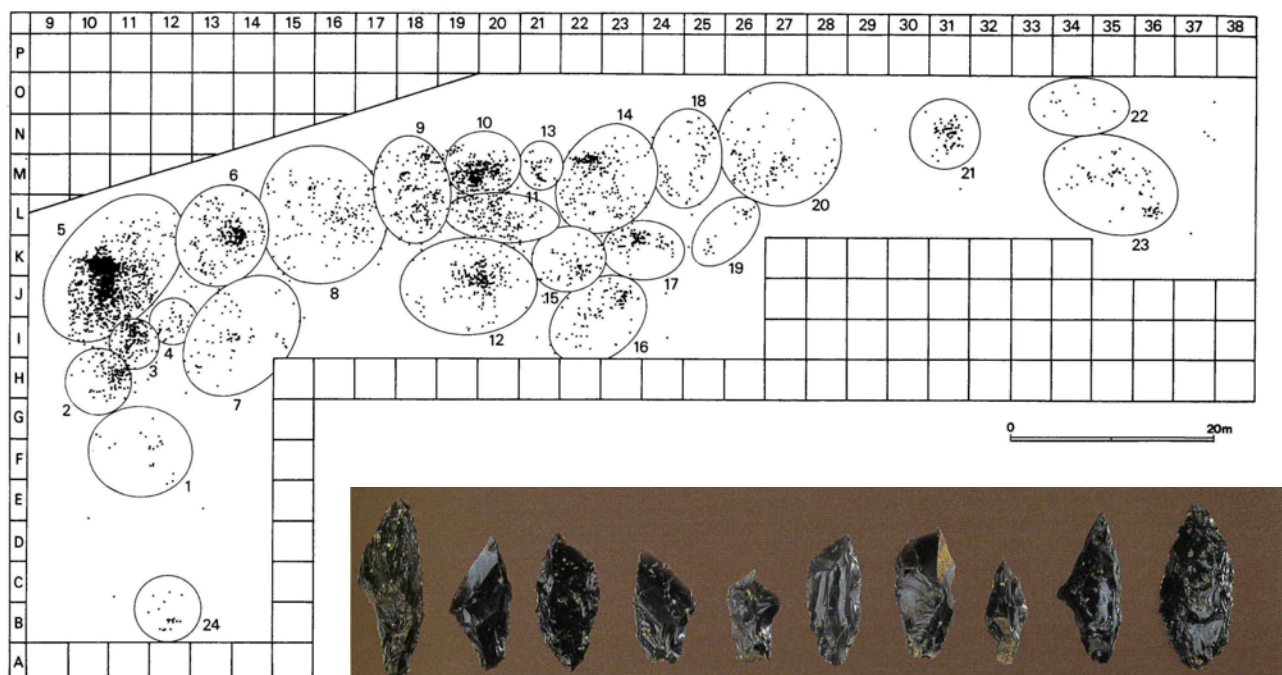
第 11 図 ナイフ形石器の製作と遺跡間工程連鎖 (安蒜 1992)



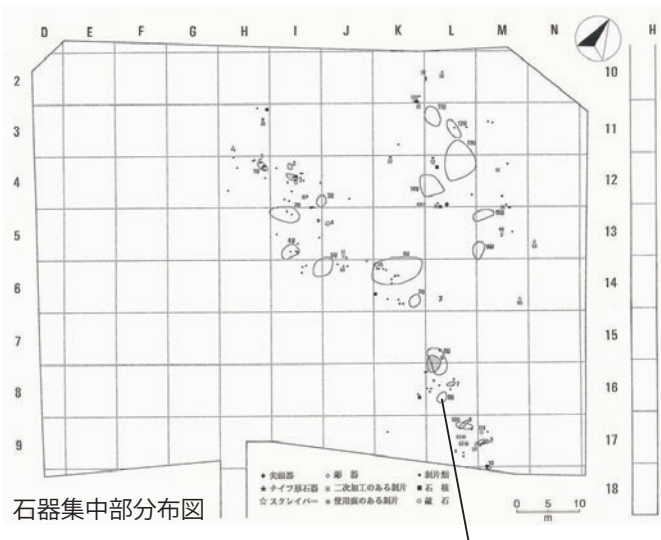
第 12 図 旧石器時代後半期の気候変動と石器群の変遷 (写真: 下森鹿島遺跡のローム層と石器分布)



第 13 図 吉岡遺跡群 B 区と用田鳥居前遺跡の遺跡間接合 (相模野第IV期前半：約 23,000 年前)



第 14 図 大規模遺跡の形成 (海老名市柏ヶ谷長ヲサ遺跡 相模野第III期)

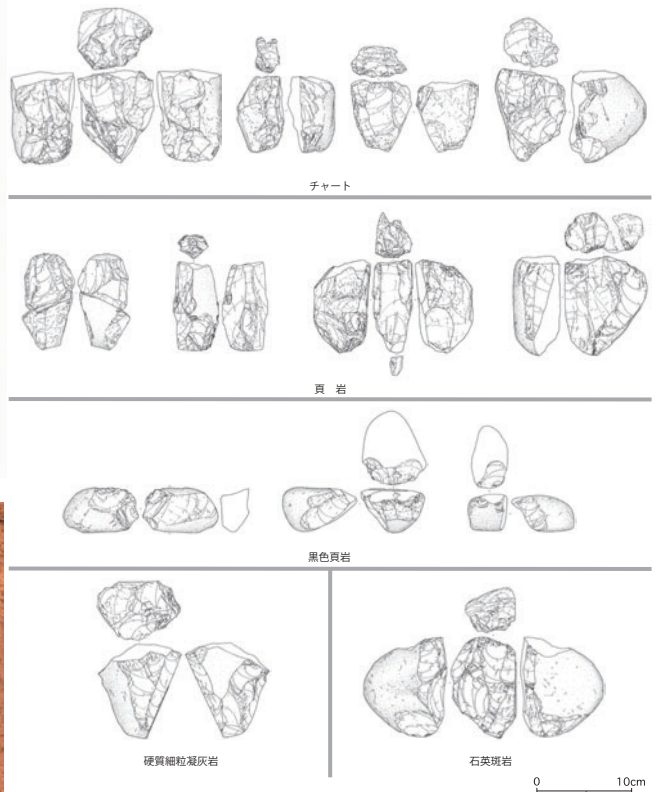


石器集中部分布図



石核一括出土状況

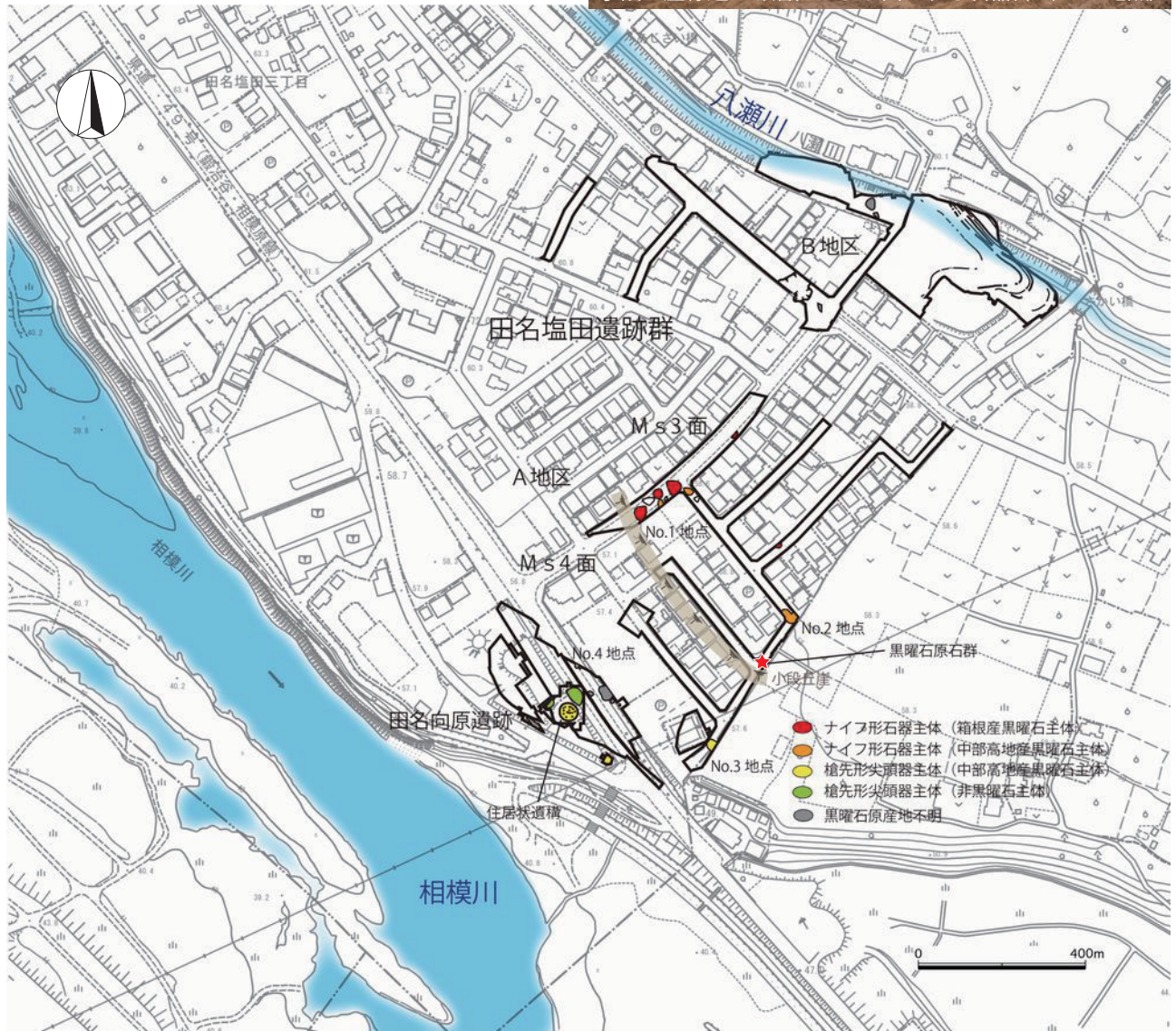
石器原料消費途次段階の石核一括出土資料



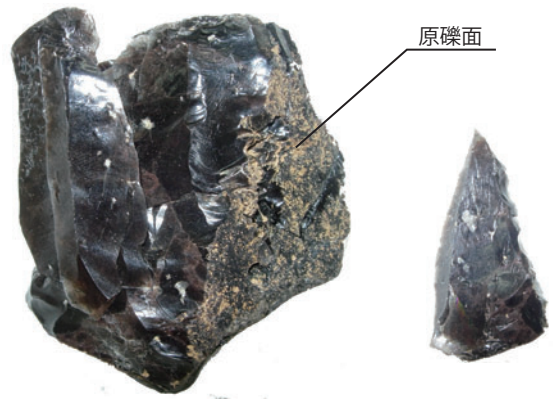
- 多摩川水系（武蔵野台地）：チャート、頁岩
- 古利根川水系（武蔵野台地）：黒色頁岩
- 相模川・境川水系（相模野台地）：硬質細粒凝灰岩



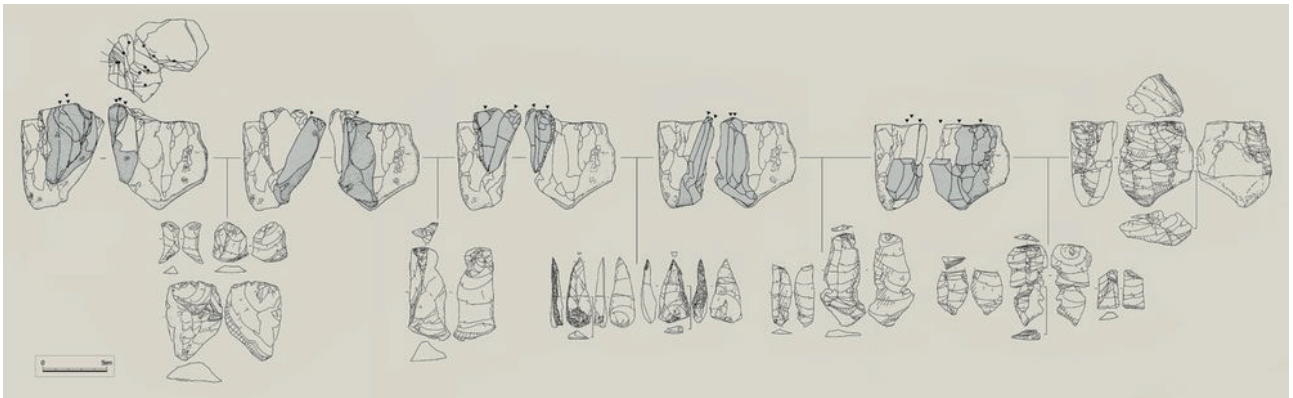
第 15 図 石器石材の搬入と石核の一括保管（相模原市下森鹿島遺跡 相模野第Ⅳ期前半）



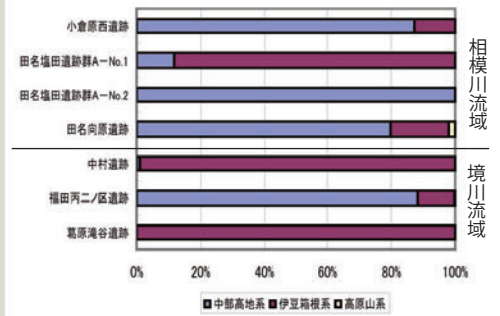
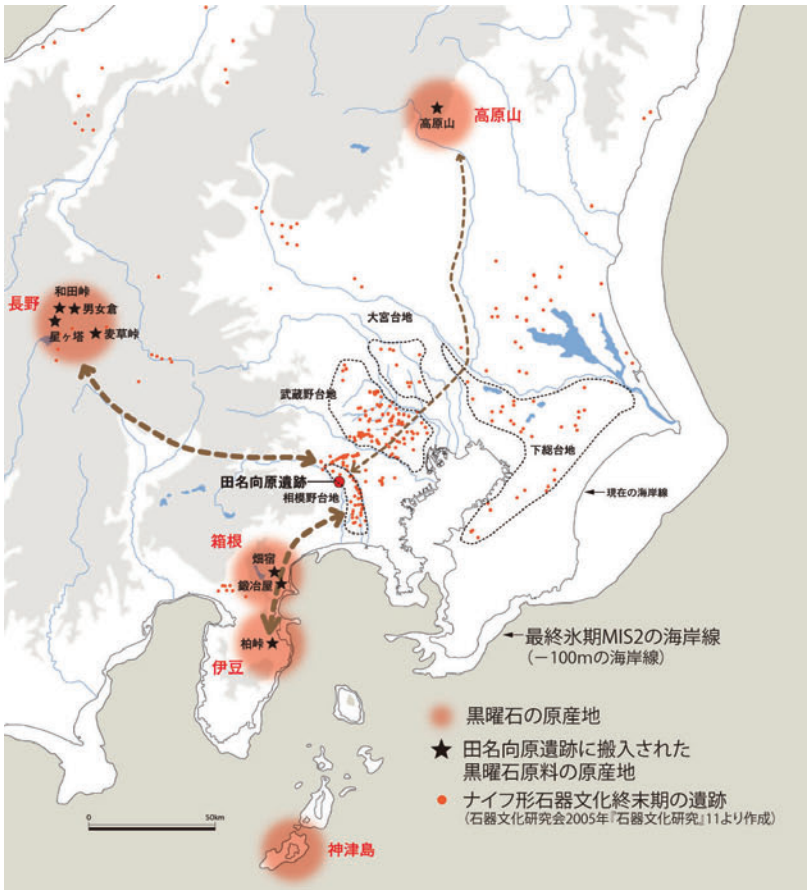
第 16 図 陽原段丘塩田原面群の段丘化過程と石器群の形成 (相模原市田名塩田遺跡群 相模野第IV期後半)



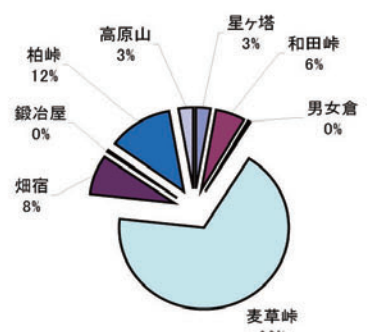
信州系黒曜石の剥片剥離接合資料とナイフ形石器



第 17 図 黒曜石原石の一括保管と石器製作工程 (田名塩田遺跡群 A 地区 相模野第IV期後半)

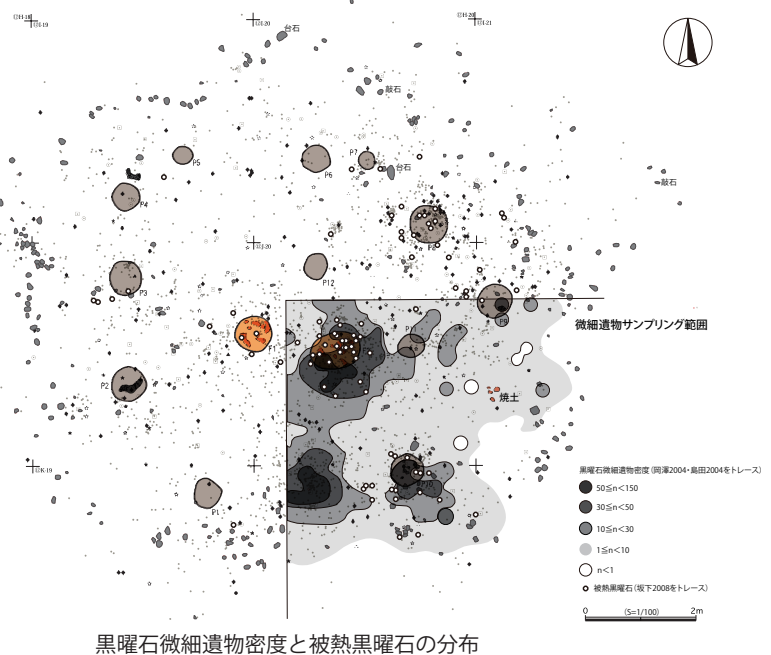
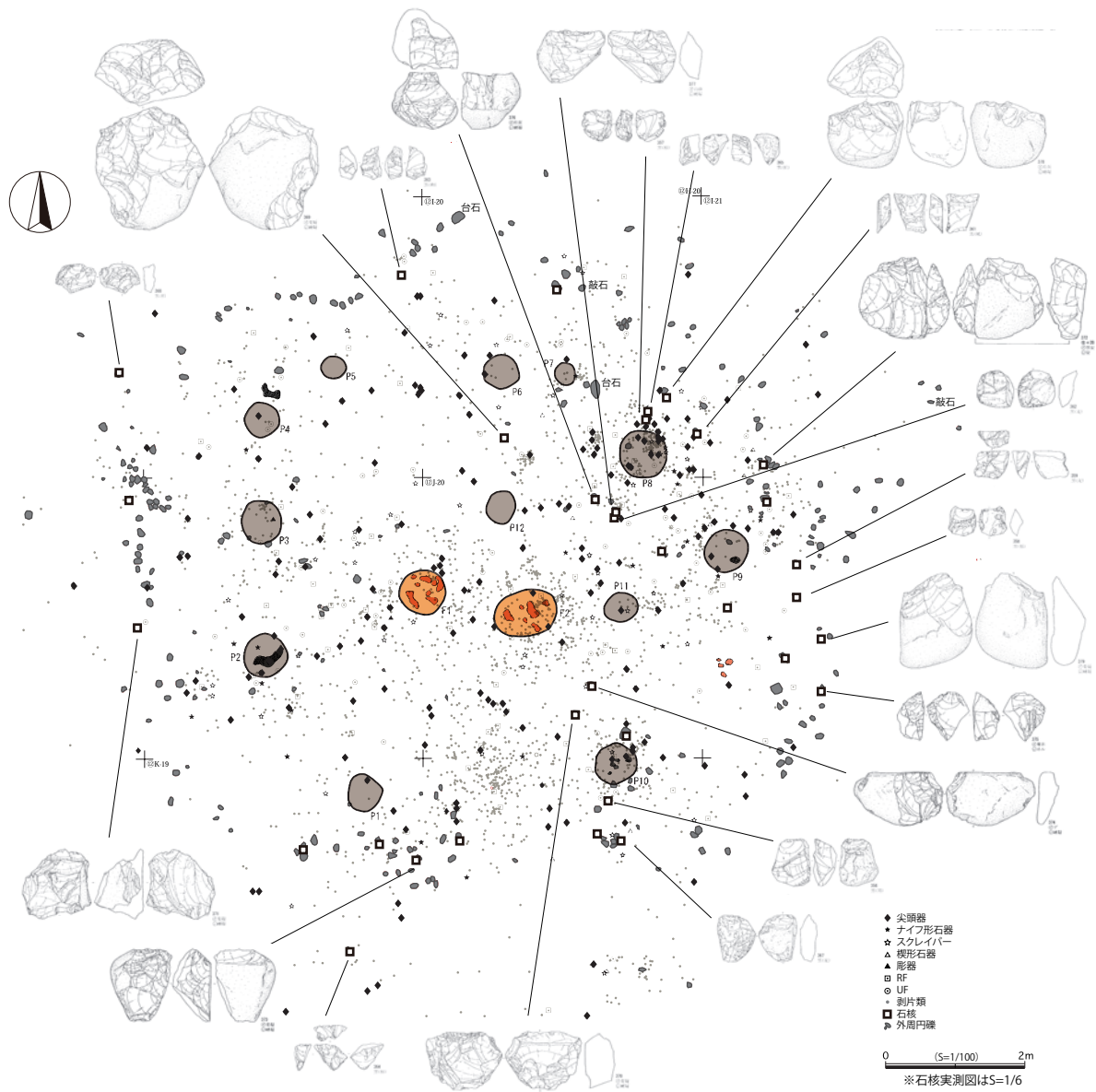


相模野台地内遺跡利用黒曜石原産地組成



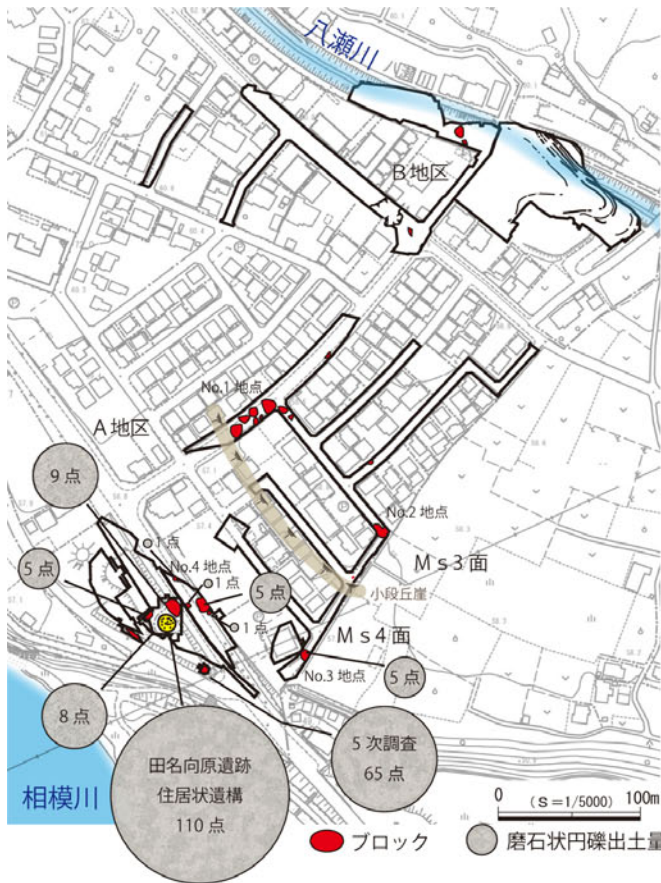
田名向原遺跡住居遺構利用黒曜石原産地組成

第 18 図 黒曜石原産地と相模野台地における黒曜石利用状況 (相模野第IV期後半)



黒曜石微細遺物密度と被熱黒曜石の分布

第19図 田名向原遺跡住居状遺構の構成（相模野第IV期後半）

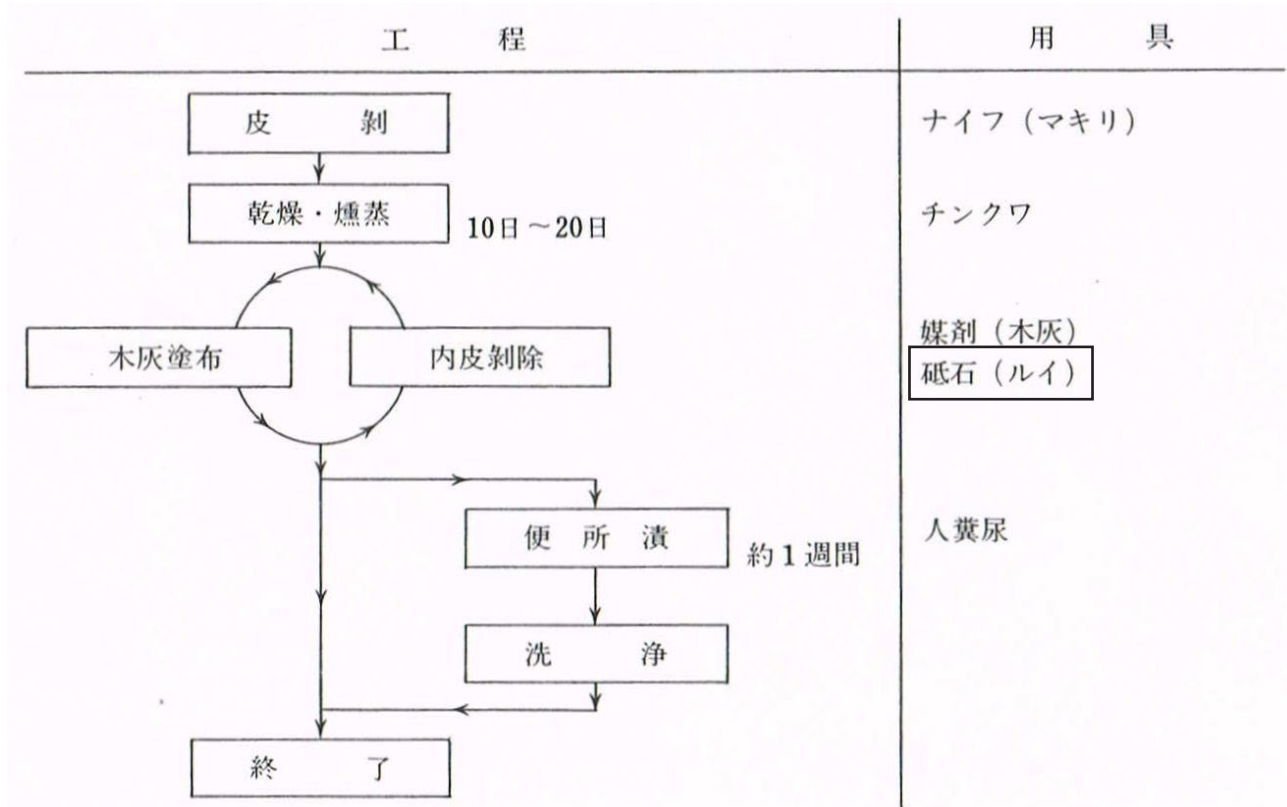


調査地点	出土位置	磨石状円礫	備考
A地区No. 3地点	1ブロック	1	
	鉄塔移設部	4	
	ブロック外	0	
A地区No. 4地点	住居状遺構	110	外周円礫現地保存含む
	1ブロック	9	
	2ブロック	5	
	3ブロック	1	
	4ブロック	0	
	5ブロック	1	
	6ブロック	5	
	7ブロック	1	
	3次調査	0	
	5次調査	65	住居状遺構南側一括集中
ブロック外	16	住居状遺構西側一括集中	
計		218	

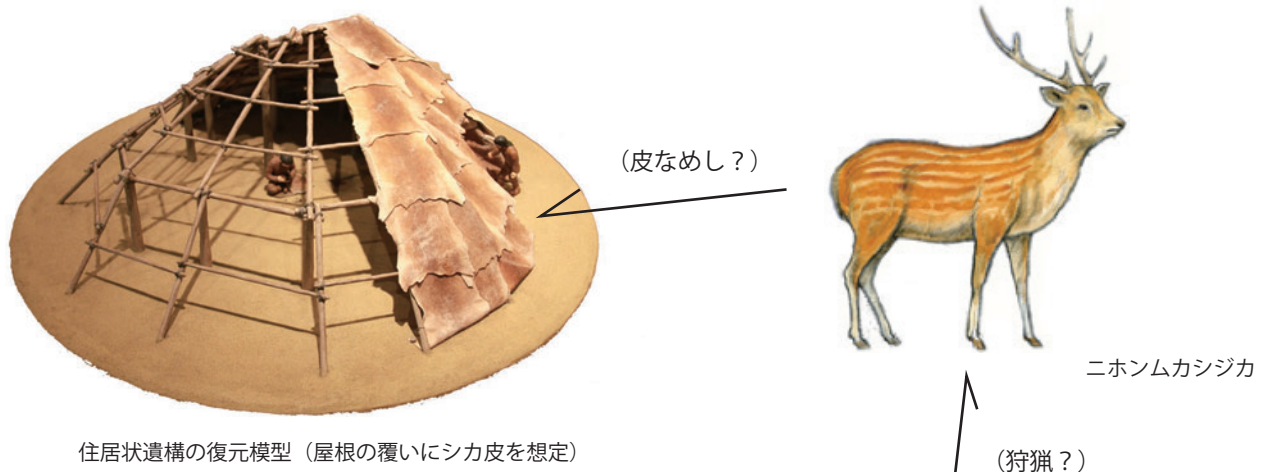


第5次調査地点磨石状円礫一括 (写真 相模原市立博物館)

第20図 田名塩田遺跡群の磨石状円礫出土状況 (相模野第IV期後半)



第21図 北海道アイヌの皮革処理工程と砥石の利用 (佐々木 1992 を一部改変)



田名向原遺跡の景観復元図

第 22 図 田名向原遺跡住居状遺構の復元

引用参考文献

- 安蒜政雄 1992 「砂川遺跡における遺跡の形成過程と石器製作の作業体系」『駿台史学』86
- 大泰司紀之 1983 「シカ」『縄文文化の研究』2
- 大泰司紀之 1990 「旧石器遺跡の位置と狩猟獣の季節移動ルートに関する考察」『第四紀研究』29-3
- 工藤雄一郎 2012 『旧石器・縄文時代の環境文化史』
- 国武貞克 2007 「石材と行動」『ゼミナール旧石器考古学』
- 久保純子 1997 「相模川下流平野の埋没段丘からみた酸素同位体ステージ 5a 以降の海水準変化と地形発達」『第四紀研究』36-3
- 公文富士夫・河合小百合・井内美郎 2009 「野尻湖堆積物に基づく中部日本の過去」『旧石器研究』5
- 齋藤玲子 1998 「極北地域における毛皮革の利用と技術」『北海道立北方民族博物館研究紀要』7
- 相模原市 2009 『相模原市史 自然編』
- 坂下貴則 2008 「黒曜石の被熱痕跡による田名向原旧石器時代住居状遺構の新しい解釈」『旧石器研究』4
- 佐々木史郎 1992 「北海道・サハリン・アムール川流域における毛皮および皮革利用について」『狩猟と漁労』
- 佐藤宏之 1992 『日本旧石器文化の構造と進化』
- 佐藤宏之 1996 「社会構造」『石器文化研究』5
- 島田和高 1998 「中部日本南部における旧石器地域社会の一様相」『駿台史学』102
- 島田和高 2008 「黒曜石のふるまいと旧石器時代の住まい」『旧石器研究』4
- 鈴木次郎・矢島国男 1988 「先土器時代の石器群とその編年」『日本考古学を学ぶ (1)』(新版)
- 諏訪間順 1988 「相模野台地における石器群の変遷について」『神奈川考古』24
- 高橋啓一 2011 「最終氷期の環日本海地域における大型哺乳動物相の変遷」『野と原の環境史』
- 多田隆治 1997 「ダンスガード・サイクル」『科学』67-8
- 堤 隆 1996 「遺跡の空間構造と遊動パターンについての素描」『石器文化研究』5
- 堤 隆 2000 「搔器の機能と寒冷適応としての皮革利用システム」『考古学研究』47-2
- 中川真人 2013 「2 万年前の生活」『考えよう！旧石器人のライフスタイル』
- 中川真人 2014 「田名向原遺跡と小保戸遺跡」『石器文化研究』19
- 長崎潤一 2001 「日本旧石器時代の社会と集団」『現代の考古学 6 村落と社会の考古学』
- 中沢祐一 2013 「廃棄物形成から見た居住活動の組織化」『旧石器研究』9
- 野嶋洋子 2005 「焼石調理の民族誌」『考古学ジャーナル』531
- 野嶋洋子 2007 「集石の民族誌」『縄文時代の考古学』5
- 福澤仁之・斎藤耕志・藤原 治 2003 「日本列島における更新世後期以降の気候変動のトリガーはなにか？」『第四紀研究』42-3
- 町田 洋 2009 「富士・箱根火山の活動と相模原」『相模原市史 自然編』
- 吉田政行 2010 「遺跡間接合にみる旧石器時代人の活動痕跡」『比較考古学の新天地』